

★ 陽明高校 介護福祉学科の思い出ありんくりん ★ ～心優しい、あたたかい気持ちをいつまでも～

平成12年に開科した陽明高校介護福祉学科が今年3月をもって16年の歴史を閉じました。これまで、心に寄り添う知識や技術を学ぶ一貫として、地域への貢献活動にも積極的に参加してきました。その中からの地域貢献活動の一部を紹介していきます。

■これまでの歴史…

平成7年陽明高校総合学科の福祉サービス系列として始動し、平成12年には独立し介護福祉科が設立され、多くの専門職の方々、施設実習の際は21施設のご協力のもと、利用者様にご指導いただきながら、計470名の卒業生を輩出しました。

～継続した活動～

- ・地域のボランティア活動 ・空き缶を収集、換金して、車いすを贈呈(寄贈先:浦添市社会福祉協議会)
- ・校内での赤い羽根共同募金活動の実施と寄付…等々

■卒業生は今…

- ◎「1年生の時に介護の基礎を学び、2、3年生になると実際に高齢者と関わりながら色々学びました。学校で学んだことが現在働いているデイケアで生かされています。閉科は寂しいですが、卒業生が介護の業界をよりよくするために貢献できたらと思います。」(第24期卒業生)
- ◎「恩師や学友に恵まれ、充実した3年間でした。現在は高齢者分野の業務に従事しており、学校で学んだ福祉の心を忘れず日々の業務に取り組んでいます。」(第21期卒業生)

『認知症の方を地域で支えるための福祉教育』

「地域で認知症の方を支えるためにできること」について考え、認知症という病気のことだけでなく、相手の理解や気づきなどについて学ぶ為、昨年5月認知症徘徊者捜索実験(主催:特定非営利活動法人すりずり・株式会社リウデン)に参加し、9月の報告(主催:陽明高校・特定非営利活動法人すりずり)とともに知識と理解を深めました。



▲徘徊者捜索実験の様子

『ミニデイサービス』

卒業記念学習として、実際に人とふれあう中で相手への心配りなどを学ぶためのミニデイサービスを実施しました。今年は、高齢者の分野で学生達自ら企画を進め、生きいき健康クラブ(宮城公民館)とてだこ苑を訪問し、小規模多機能型居宅介護事業所すりずりの利用者さんを学校へお招きしゲームなどで楽しく交流を図りました。



▲宮城公民館生きいき健康クラブ

『ありがとう！車いす駅伝&ウォーク』

出逢った方々に感謝を込めてと昨年の10月に生徒たちが企画し、実習でお世話になった施設の市町村「浦添、那覇、宜野湾、北中城」のコース約28キロを車いすと徒歩で周るというセレモニーが2月6日に行われました。この日はあいにくの雨でしたが沿道の方々や卒業生の応援に胸が熱くなった生徒達でした。



卒業生のみなさんの新しい出発を応援しています！！

■これから…

介護福祉科はなくなりますが、今後も陽明高校総合学科の選択授業として、福祉の科目を学ぶことができます。社会福祉の概要から、高齢者介護、障がい児・者とのふれあいなど、人との関わりや命の大切さをふまえながら幅広い福祉について学習していきます。思いやり溢れる福祉のまちづくりを共に考えてみませんか？

～浦添市地域包括支援センターみのり閉所のお知らせ～

高齢者やその家族の方々の相談支援事業を行ってまいりました地域包括支援センターみのりは、平成28年3月31日をもって、閉所いたします。多くの方のご協力に感謝申し上げます。
4月以降の高齢者やその家族の日常生活の悩みや困りごと、サービスの利用の相談などについては、右記の地域包括支援センターで行いますので、引き続きご利用頂きますようお願い申し上げます。

名称	担当行政区
地域包括支援センター「仁」 電話:917-2268※同仁病院近く	仲西・城間・大平・宮城・屋富祖・浅野浦・キャンプキングザー・浦添ニュータウン・仲間
地域包括支援センター「ていだ」 電話:870-0150 ※かりまた内科医院2階	勢理客・神森・内間・小湾・沢峠・県営沢峠高層住宅・経塚・前田・県営経塚団地・茶山・浦添グリーンハイツ・前田公務員宿舎
地域包括支援センター「みなとん」 電話:876-3710 ※浦添総合病院隣アルカディア1階	港川・県営港川団地・港川崎原・伊祖・上野・牧港・牧港ハイツ・浦添市街地住宅・マチナトタウン・浦城・緑ヶ丘・西原一区・西原二区・当山・広栄・浦西・安川・当山ハイツ・陽迎橋・安波茶・浦添ハイツ

(太字は3月まで地域包括支援センターみのりが担当していた地域です)